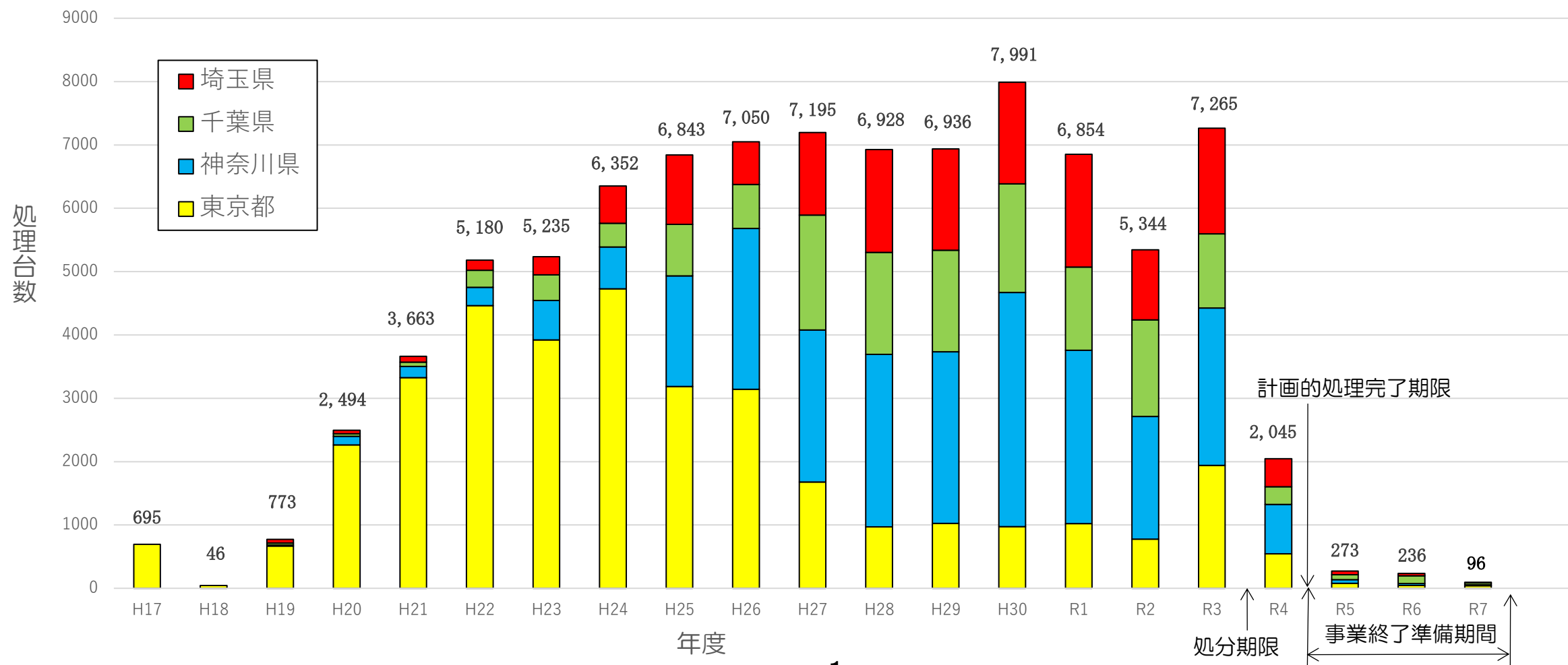


JESCO東京事業所のPCB処理事業の終了について

1 高濃度PCB廃棄物 処理台数の推移（変圧器・コンデンサ）

○平成17年度から令和7年度末まで、1都3県の累計で約89,500台を処理



【参考１】 高濃度ＰＣＢ廃棄物の全国の処理の状況について

- ＪＥＳＣＯで処理されてきた高濃度ＰＣＢ廃棄物の量は、変圧器・コンデンサー等が約３９万６千台、安定器・汚染物等が約２万１千トン
- ＪＥＳＣＯ事業により高濃度ＰＣＢ廃棄物の処理は大きく進展

令和８年３月末時点の処理量（変圧器・コンデンサー類）

	変圧器	コンデンサー類
北九州事業エリア（平成３０年３月）	約２．８千台	約５９千台
大阪事業エリア（令和６年３月）	約２．８千台	約８５千台
豊田事業エリア（令和６年３月）	約２．５千台	約７９千台
東京事業エリア（令和８年３月）	約３．８千台	約８６千台
北海道事業エリア（令和８年３月）	約４．１千台	約７０千台
全国	約１６千台	約３８０千台

※北海道事業エリアには処理事業終了後に発見された北九州・大阪・豊田事業エリアの高濃度ＰＣＢ廃棄物量を含む。

令和８年３月末時点の処理量（安定器・汚染物等）

	安定器・汚染物等
北九州・大阪・豊田事業エリア（令和６年３月）	約１０千トン
北海道・東京事業エリア（令和８年３月）	約１１千トン
全国	約２１千トン

※北海道・東京事業エリアには処理事業終了後に発見された北九州・大阪・豊田事業エリアの高濃度ＰＣＢ廃棄物量を含む。

2 JESCO東京事業所の最終搬入完了と最終処理完了

○令和7年12月12日に最終搬入完了、令和8年3月19日に最終処理完了

■最終搬入完了（令和7年12月12日）

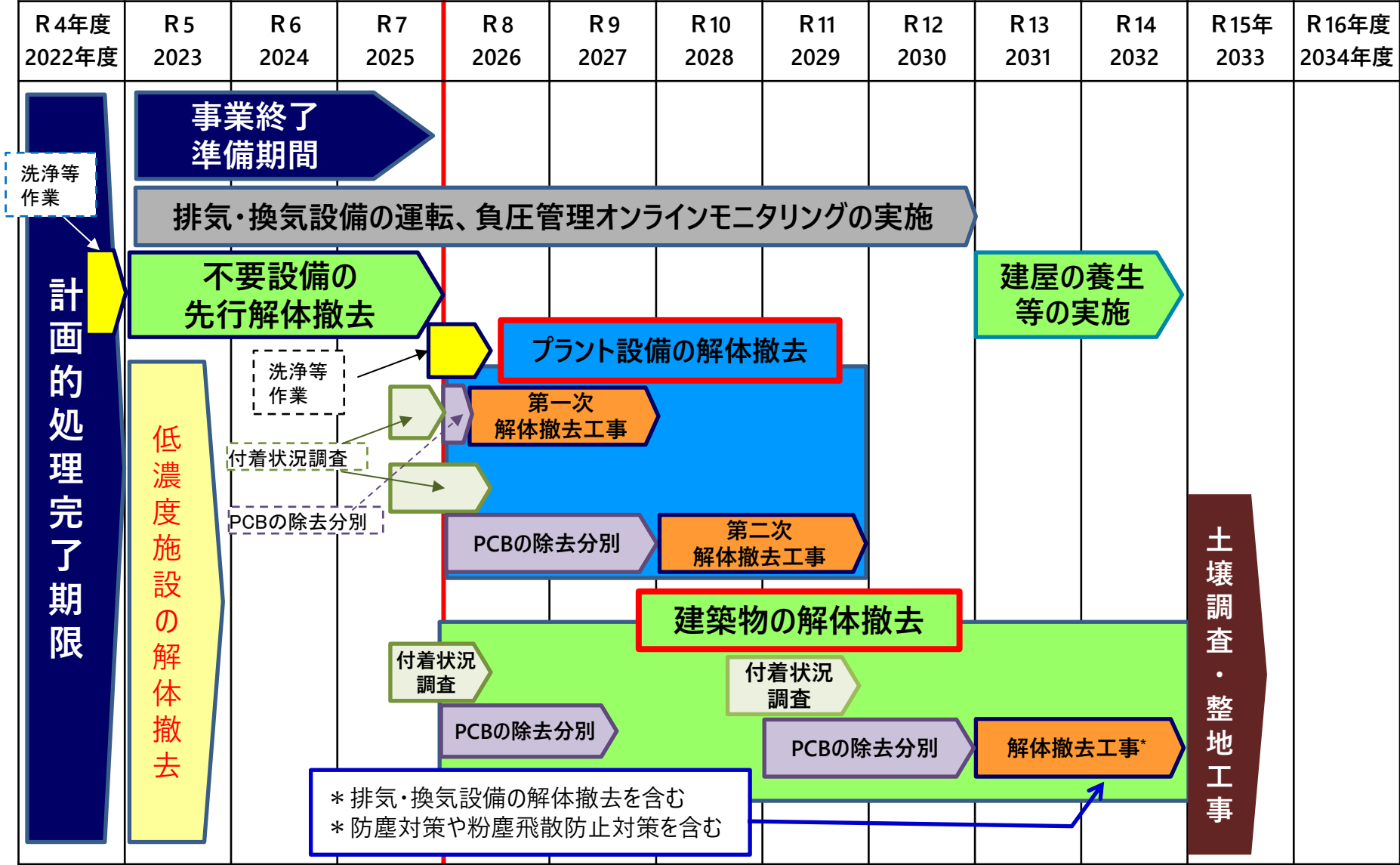


■最終処理完了（令和8年3月19日）



3 JESCO東京事業所の解体撤去の全体スケジュール

○ 令和8年度からプラント本体の解体撤去、建物のPCBの除去分別を実施



4 JESCO東京事業所におけるPCB廃棄物の払い出しについて

- 解体撤去物等の低濃度PCB廃棄物の処理の委託先について、入札により決定
- 最寄りのインターチェンジから首都高速道路を使用し、江東区内の通行を極力少なくする。

(1) 令和7年度の低濃度PCB廃棄物の処理の委託先の実績（低濃度PCB廃棄物の無害化処理認定施設）

- ① 杉田建材株式会社（所在地：千葉県）
- ② 群桐エコロ株式会社（所在地：群馬県）
- ③ 神戸環境クリエート株式会社（所在地：兵庫県）
- ④ オオノ開発株式会社（所在地：愛媛県）
- ⑤ 三光株式会社（所在地：鳥取県）



使用インターチェンジ

(2) 解体撤去物の低濃度PCB廃棄物

- ◆解体廃棄物・・・撤去した低濃度汚染の機器、装置等
- ◆二次廃棄物・・・解体作業に伴って発生したウェスや防護服等の低濃度汚染物